

こだわろう！くらしの向上 ひろげよう！仲間の輪
2026春季生活闘争ニュース

2026.3.23 ー第8号ー 連合北海道 春季生活闘争本部

2026 春季生活闘争 第1回回答集計結果について

連合本部集計（3月23日10:00時点）

- 平均賃金方式で回答を引き出した1,100組合の加重平均（規模計）は17,687円・5.26%であった。（昨年同時期比141円減・0.20ポイント減）
300人未満の中小組合（552組合）は、14,300円・5.05%であった（昨年同時期比20円減・0.04ポイント減）。いずれも、5%を上回っている。
賃上げが明確にわかる960組合の賃上げ分は13,013円・3.85%（同442円増・0.01ポイント増）で、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降で最も高くなった。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額（加重平均）は、時給84.51円（同5.45円増）と、昨年同時期比を上回った。時給の引き上げ率（概算）は6.89%（同0.39ポイント増）と、一般組合員（平均賃金方式）をも上回っている。
- 企業の持続的成長、日本全体の生産性向上につながる「人への投資」の重要性について、労使で認識共有をはかり、中長期的視点を持って粘り強く真摯に交渉した結果、3年連続で5%を上回る高水準の回答を引き出している。交渉に真摯に応じ社会の期待に沿った回答を決断した経営側にも敬意を表する。

連合北海道集計（3月23日12:00時点）

- 妥結報告のあった組合は、31組合・14,780人（昨年同時期17組合・11,614人）となり、昨年同時期（3月14日集計）に比べ、14組合・3166人増加している。
- 現時点で報告のあった組合が少数であることや、集計組合が昨年と同一ではないため単純には比較できないものの、月例賃金の加重平均では総額15,892円の引き上げ、率で5.49%となり、昨年同時期と比べ1,840円・0.71%減となった。組合規模別では300人以上の組合で5%台の水準となっている。
- 先行回答ゾーンでは、昨年に引き続き高水準の引き上げとなっている。今週からは、中堅・中小、そして地場組合の交渉が本格化する。連合北海道は、構成組織及び地域協議会・地区連合と緊密に連携を取り、格差是正・処遇改善に全力で取り組んでいく。

【組合規模別賃上げ状況 2026年3月23日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年比
300人未満	18組合	1,439人	12,136円(4.25%)	14,361円(5.67%)	▲2,225円(▲1.42%)
300人以上	13組合	13,341人	16,251円(5.56%)	17,957円(6.24%)	▲1,706円(▲0.68%)
計	31組合	14,780人	15,892円(5.49%)	17,732円(6.20%)	▲1,840円(▲0.71%)

◎2026春季生活闘争のエントリー未報告の産別・地区ユニオンは、ご報告をお願いします。

◎回答・妥結情報を連合北海道2026春季生活闘争本部までお知らせください。

担当：組織労働局 山田・有山 (T:011-210-0050)